

# 令和4年12月三田市議会定例会(第369回)一般質問発言通告一覧

(第3日・12月9日 個人質問)

## 22番 厚地 弘行 <一問一答>

- 1 花のまち三田の推進について
  - (1) 菊花展、さつき展は総合福祉センター内での展示だけでなく、市庁舎や駅前など人通りの多い所でもっと人目に付く場所での展示をしてはどうか。
  - (2) フラワータウンリボンプロジェクトの最中でもあり、市民が花を身近に意識できる事業を通じて花のまち三田を進めて行ってはどうか。
- 2 屋外でのマスク着用の義務について
  - (1) 新型コロナウイルスの問題については、世界的には規制は緩和されマスク着用についてはほとんど見られなくなった。国においてもこれまでのような厳しい規制ではなく緩やかになって来ている。市の屋外でのイベントではいまだマスク着用や人数制限の義務付けが見られるが、マスク着用についての市の考え方を聞く。
- 3 職員の給与に連動した人事評価について
  - (1) 頑張っている職員に対して評価と給料が連動し上がるように進めるとこれまで市は言ってきたが、5段階評価の中間であるA評価、B評価、C評価については給与への反映は同じのままである。なぜいつまでもできないのか。
- 4 藍小学校を投票所にしてはどうか
  - (1) 藍小学校区での投票所は現在2か所あるが、藍小学校は投票所になっていない。小学校の周りには住宅が多く投票所を求める声をよく聞く。三田市選挙管理委員会はこれまで藍小学校を投票所とした場合には地域内の他の投票所をなくすとしているが、高齢化のなかで近くの藍小学校で投票することは考えられないか。

## 16番 北本 節代 <一問一答>

- 1 高齢化とともに増加する認知症高齢者などの家族介護について
  - (1) 各地域包括支援センターなどでの相談件数とその内容について。
  - (2) 家族介護者の介護疲れや悩みなどの相談窓口の設置と訪問相談について。
  - (3) 今後ますます増加すると思われる「家族介護者」を支援する取り組みについて。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の返済免除及び相談について
  - (1) 生活福祉資金の特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金」それぞれの貸付決定件数、決定額、また返済免除申請、免除額等について。
  - (2) コロナ禍における生活安心サポートセンター等への主な相談件数と相談内容について。
  - (3) 多様化、複雑化した支援のニーズに対応できる相談体制の充実について。
- 3 コロナ禍の児童・生徒への支援の取組について
  - (1) 不登校や別室登校の児童・生徒への対応と支援の取組について。
  - (2) 加配教員、養護教諭、子どものサポーターを全校に配置することにより、不登校等児童・生徒に様々な支援の工夫ができるのではないかと、現状と効果的な活用について。
  - (3) 自殺予防に向けての取組について。
- 4 带状疱疹ワクチン予防接種の費用助成について
  - (1) 带状疱疹の予防接種(生ワクチン(1回接種)、不活化ワクチン(2回接種))に対する助成について。

## 5番 井上 昭吾 <一問一答>

### 1 神戸女学院大学等との連携について

(1) 三田藩が創立に深く関わり、2025年に150周年を迎える神戸女学院大学は、日本各地の「地域」との連携を強めるビジョンを打ち出しています。本市も地域課題解決のパートナーとして神戸女学院大学といった三田市と歴史的繋がりのある大学との連携を積極的に進めていくべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

### 2 「域学」連携組織の設置について

(1) 多くの自治体が「域学連携」を進め、大学との関係を構築するなかで、三田市は豊富な教育機関との関わりというアドバンテージを最大限に生かすべきです。行政が事務局となり、大学や人と自然の博物館、市内高等学校も交えた連携組織を設置し、地域戦略を立案・実行すれば、魅力的な「学びのまち」を創造できると思いますが、市の考えをお聞きします。

### 3 市民への郷土教育と交流人口の促進施策について

(1) 市民への郷土教育は転入してきたニュータウン人口の多い三田市ならではの課題です。ふるさと情報誌を作成するなどして郷土の歴史や文化をわかりやすく伝える環境整備を行い、歴史的な繋がりを持つ地域との交流人口の促進を図る等の取り組みが大切だと思いますが、市の考えをお聞きします。

### 4 教職員のICT研修の現状と今後の見通しについて

(1) 令和4年9月定例会において「タブレット端末を活用した教育を推進するためにも教員が必要とする研修を工夫実施し、活用の促進を図る」との答弁がありましたが、教職員のICT活用能力向上のための研修の現状と今後の見通しについて、研修機会、研修時間を確保する施策も含めて、市の考えをお聞きします。

### 5 不登校特例校の設置について

(1) 今後、自ら不登校を選び学校に頼らず自習する子どもや、特色ある教育を実施するフリースクールに通う子どもの増加が予想されます。不登校特例校は学習指導要領に縛られずに学習内容を調整でき、魅力的なカリキュラム編成が可能です。不登校支援の側面は言うまでもなく、「学びのまち」を謳う三田市が「新しい教育」を研究・実践する意味でも不登校特例校の設置を検討する必要があると思いますが、市の考えをお聞きします。

### 6 英語教育強化事業について

(1) 令和4年度から実施されたオンライン英語授業は、具体的にどのような方法で実施され、市としてどのように評価しているのでしょうか。また、対象学年の拡大や、授業回数増加の検討も必要かと思いますがどのように進めていくのでしょうか、市の考えをお聞きします。

## 1番 林 政徳 <一問一答>

### 1 さんだ里山スマートシティ構想について

- (1) 官民共創プラットフォームの運用について。
- (2) 誰もが健康で暮らすためのデジタルヘルスケアの活用について。
- (3) 高齢者・障害者等の安心を守る取り組みについて。
- (4) 地域の活動を支える取り組みについて。
- (5) 分野別部会の集約と活用について。

### 2 市民病院におけるDXの推進について

- (1) 市民病院のWi-Fi環境について。
- (2) 市民病院の人間ドックに対するDXの活用について。

### 3番 木村 雅人 <一問一答>

#### 1 三田市民病院の再編統合について

- (1) 再編統合のデメリットの説明がないのはなぜか。
- (2) 新専門医制度によって市民病院をなくすことはあってはならないと考えるがどうか。
- (3) 市が広域医療を担うのではなく県が基幹病院を作るべきではないか。
- (4) 市民病院に関する意見交換会は正当で公正な開催だったのか。
- (5) 民意に反した「三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想」を白紙撤回すべきと考えるがどうか。

### 17番 美藤 和広 <一問一答>

#### 1 フラワータウン再生ビジョンの実現について

- (1) 人口減少の原因と対策。
- (2) センター地区と市民活動の活性化。
- (3) 空き家対策と住み替え支援。
- (4) 公共・都市施設の積極的な活用。
- (5) 子育て世帯の住み良いまちづくり。

#### 2 植栽管理の課題と対策について

- (1) 街路樹の適正な育成・管理に向けた基本方針の実現。
- (2) 地域からみた街路樹・植栽のあり方。

#### 3 子どもの居場所づくりの推進について

- (1) 放課後児童クラブの課題。
- (2) 放課後子ども教室の現状と今後の方針。
- (3) 「夏休み子どもの居場所」の定例化と支援。

#### 4 「折り紙」で育む「脳」と「心」と「絆」について

- (1) 教育での取り組みと展開。
- (2) 高齢者とのふれあいと交流。